

2024 年度 事業報告

事業総括

2024 年度事業計画基本方針

- 1 バスケットボールの競技力向上を図り、世界へ羽ばたく人材を育成する
- 2 バスケットボール競技を通じて、生涯スポーツ社会の実現を目指す
- 3 インテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）の確保を目指す
- 4 「チャレンジ 50thousand」推進 埼玉県バスケットボールファミリーの拡大

事業概要

埼玉県代表チームは、山梨県開催「第 78 回国民スポーツ大会関東ブロック大会」において少年男子が 3 位となり 3 年連続の本大会出場権を獲得しました。また少年女子は準優勝を果たし 2 年ぶりの本大会出場となりました。スタッフ及び選手関係者の皆さんが精進された結果です。そして、10 月開催の佐賀県「第 78 回国民スポーツ大会 SAGA2024」では、少年男子は、1 回戦山口県を相手に勝利し 2 回戦まで進出しました。少年女子は 2 回戦北海道に勝利し 5 位入賞（Best 8）を果たしました。

U15 カテゴリーにおいて春日部市立豊野中学校が、「令和 6 年度第 54 回関東中学校バスケットボール大会」において優勝し、新潟県開催「令和 6 年度全国中学校体育大会第 54 回全国中学校バスケットボール大会」出場を果たし、Best 8 となりました。

JBA「ジュニアユースアカデミーキャンプ」に男女それぞれ 1 名がメンバーとして選出され参加しました。

アンダーカテゴリーのユース育成事業は、各カテゴリーを県と 4 支部ごとに分けて年間 10 回程度の活動を実施しました。参加人数は、トライアウトを含めるとそれぞれ U12DC 男女延 3,443 人、U13DC 男女延 2,917 人、U14DC 男女延 3,186 人、U16DC 男女延 823 人にのびります。大変多くの競技者が DC 活動に参加し、各スタッフ指導のもと活動をしました。

埼玉県社会人バスケットボール連盟と連携し「生涯スポーツ社会」の実現を目指しました。県内「社会人リーグ」は、「一般」、「40」、「50」の 3 つのカテゴリーで実施され、参加チーム総数は 75 チームから 77 チームと増加しました。

また、全国フレンドリーシップ大会に、「40」女子 1 チーム、「50」男子 1 チーム、女子 7 チーム、「60」男子 3 チーム、女子 1 チームを派遣しました。日本スポーツマスターズ大会へは、男子 3 チーム、女子 2 チームを派遣しました。各年齢層で競技を楽しむ社会の実現に向け出場したチームを支援しました。

裁定委員会は、インテグリティ研修会の2024年度実施状況を調査し、協会理事会に報告しました。各カテゴリーと連盟や部会・委員会の研修会実施が報告され、インテグリティに対する啓発がおこなわれています。しかし、残念なことに、埼玉県は「JBA 暴力行為等通報窓口」の案件数が、全国1位となってしまいました。また、電話や手紙による苦情も多数寄せられました。案件に対しては、各カテゴリーの協力のもとで行為者への対応や全体への注意喚起をおこないました。引き続き、研修会の実施や内容の充実などを検討する必要があります。子どもたちが楽しく、安心して、安全にバスケットボールに打ち込めるよう、暴力や暴言、ハラスメントのない健全なバスケットボール環境の実現が求められています。

2047年の本協会創立100周年に向けて、「チャレンジ50thousand」の推進と埼玉のバスケットボールファミリーが一体となってバスケットボール競技の振興・発展のために各事業を取り組みました。チームおよび競技者の登録数は、少子化等の影響もあったと思われるなかで前年度とほぼ同数の登録がありました。資格者登録数は、特にE1、E2コーチの廃止により減少しました。協会ホームページを活用するなどして登録情報や養成講習会情報の発信などに取り組んでいきます。